

# ちえの輪

vol.96

2024年3月31日発行

多摩区地域教育会議広報紙編集委員会

## Index

- 1 ● 令和5年度第2回交流会
- 2 ● 地域教育会議の「子ども会議」とは?
- 3 ● 菅中学校区の子ども会議を見学(ディスカッション型子ども会議)(冬フェスタ2023)
- 4 ● 次期住民委員募集

## これからの地域教育会議を考える ~令和5年度 第2回交流会報告~

中学校区地域教育会議の支援の一環として、情報、意見交換をする今年度2回目の交流会が11月29日に開催されました。今回は2つのテーマを設け、人数を半数ずつに分けて意見交換会を行いました。

### テーマ1

「学校との協力関係、学校の将来と地域がどう関わるか」

Q. 地域と学校の連携は必要との声は聞かれますが、学校ごとに必要な連携が違いますか?

稲田中学校区: 学校との連携は必要ですが、地域と子どもが関わるのが目的なので、先生にこれをやってくださいと言うのではなく、施設を貸してもらうくらいです。

菅中学校区: 活動は住民が主体で、学校側には子ども会議の日程調整やチラシ配布などをお願いしています。新たに、学校長や町会長に声をかけて本音で語り合う会議を始めてみました。議事録に残すことがないため、本音で話し合うことができている。

生田中学校区: 学校の先生方と連携をとり、子ども会議の日程を決めてくれています。

南菅中学校区: 地域教育会議の活動が増えるにつれて、先生たちの休日出勤が増えている現状があります。

### テーマ2

「地域教育会議の現状と今後、新たな担い手の発掘」

Q. 現在の運営、委員会の体制と課題について教えてください。

菅中学校区: 運営が11人いて全員が議長をできるくらいの人材になっています。このような人を集めないといけません。簡単ではありません。

南菅中学校区: 小さい学区なのでPTA、地教、学校運営協議会と、どこにいても同じメンバーがいるという状況です。PTAとの交流がないため、PTAから地教に引っ張ってくるのが難しいです。

南生田中学校区: 1小1中。やはりどこにいても同じ顔です。委員会がうまく回っておらず、議長と副議長とコーディネーターがあちこち動いていて大変です。

枳形中学校区: コロナ後に仕切り直しましたが欠員が出ており、住民委員の方がなかなか難しいです。子ども会議や教育を語るつどいの活動を考えていますが、学校周年

行事が忙しくて、なかなか手が回らないのが現状です。

生田中学校区: 3小1中で、学校ごとに4つの委員会を受け持っており、事務、予算も分けています。幹事校から議長と事務局、次の幹事校になるところから副議長を出しています。今は少し人が入れ替わっているため、実働部隊を必要としています。

地域教育会議と学校との連携には地域差がありましたが、学校の現状を理解していく中で、“地域が担えることは何か”を話し合える信頼関係が大切であると思います。

最後に、地域教育会議の原点について話題になりました。今の教育環境について話し合うことができるのが地域教育会議であり、更に子どもたちには「意見を言っているんだよ」と伝えることではないか、そのような活動ができていますか?という問題提起がありました。

また、多摩区地域教育会議の委員である教職員組合の先生からは「学校の現状を皆さん本当に知らないんだ」との驚きがありました。学校の現状は、当事者である先生方が話さなければ外部の人はわかりません。それほどこの団体も同様で、地域教育会議では情報を共有し、課題を話し合っている場をつくるのが大切だと改めて感じました。

今回の交流会には、多摩区内にある7つの全中学校区が参加してくれました。参加してくださった方々に感謝するとともに、今後も意義のある交流会にしていきたいと思っています。



● 学習会やグループ活動の情報、教育に関するご意見など、多摩区地域教育会議事務局あてにお寄せください ●

多摩区地域教育会議事務局  
(多摩市民館内)

〒214-8570 多摩区登戸 1775-1  
電話: 044-935-3333 FAX: 044-935-3398

# 地域教育会議の「子ども会議」とは？

子ども会議とは、川崎市子どもの権利条例の中の「参加する権利」に基づき、“子どもが自分を表現したり、発表したり、社会に参加できる場”として開催している会議です。

これまで、多摩区地域教育会議では、子どもの活動支援委員会を中心に広報活動、参加者の募集方法、開催方法など、毎年検討を重ね開催してきました。

## 多摩区地域教育会議の「子ども会議」のあゆみ



2017年

- 10月 9日 子ども会議  
テーマ「町会ってどんなことをするところ？なぜ町会はあるんだろう？」
- 12月10日 子ども会議  
テーマ「町会ってどんなことをするところ？なぜ町会はあるんだろう？」  
まとめ

2018年

- 10月 6日 午前：防災学習 午後：子ども会議  
多摩区役所屋上ヘリポートの見学、危機管理担当職員より防災についての学習  
子ども会議 テーマ「防災について～防ぐことと、出来ること～」
- 11月 4日 子ども会議広報活動としてイベントを開催  
脱出ゲーム 「市民館からの脱出」

2019年

- 10月14日 子ども会議  
テーマ「いのち」

2020年

- 11月23日 子ども会議  
テーマ「環境問題」「学校生活」
- 12月12日 かわさき子どもの権利の日のつどい  
事前アンケート(10月 小学4年生～中学3年生対象)  
子ども会議  
テーマ「コロナの休校期間中に思ったこと」  
「子どもの権利条例」知っていましたか？



2021年

- 10月17日 子ども会議  
テーマ「インターネット」「防災」

2022年

- 11月 3日 子ども会議  
テーマ「SDGs」「コロナ対策」



多摩区地域教育会議ではコロナ禍でも対面での子ども会議を続けてきました。

テーマに関しては、事前に子どもの活動支援委員会で決めてから参加者を募集する年もあれば、参加した子どもたちの話し合いによって決められた年もあります。

多摩区全域の小中学生を対象とした会議の開催は、他の中学校区の子どもたちとの交流の場にもなるメリット

がある一方で、開催場所(多摩市民館)まで行きづらい、もっと身近な人たちと意見交換がしたいという思いのある子どもたちにとってはハードルが高いものでもありました。

そこで、行政区としてはこれまで培ってきた子ども会議のノウハウを活かし、子ども会議の開催方法に困っている中学校区を支援することにしました。

# 菅中学校区の子ども会議を見学

今年度は活動支援を希望する中学校区はなく、代わりにこれまで継続的に子ども会議を行っている菅中学校区から見学のお誘いをいただきました。そこで開催方法や当日の運営方法などを見学してきました。

## 読み札一例

- あ ありのままの自分を見とめてほしい
- た たずけてって 誰でも言っていいんだよ
- る ルールって みんなで決めるものだよ

## 〈ディスカッション型子ども会議〉

日時：10月26日(木)15:30~16:50 場所：菅小学校図書室

参加者：小学生、中学生 合計20名程度

はじめに 実行委員会委員長から会議の主旨説明

15分間 「世界の子ども権利かるた」を実施

30分間 本会議 札の内容についての意見交換

終わりに 各グループの意見まとめ、紹介



ポイント!

- 平日の放課後、小学校内で実施
- 「子どもの権利」についてゲーム形式で学ぶ
- 自分の意見を述べる時間、他の人の意見を聞く時間を設ける

## 〈冬フェスタ2023〉

日時：12月9日(土)9:00~11:30 場所：菅小学校体育館

参加者：小学1年~6年生 60名程度

はじめに 菅中学校区地域教育会議議長、実行委員会委員長あいさつ、自己紹介、チームリーダー決め、競技説明

1時間30分 競技(ペットボトルボウリング、玉入れなど6競技)



15分間 グループ会議

「冬フェスタの感想」

「菅の街で体を動かせる場所は?」

「近所で遊んでいて家族以外の人に叱られたことがある?」

「冬フェスタに参加して地域のことを考えるきっかけになった?」

終わりに グループ会議の発表  
競技結果発表



ポイント!

- 楽しそうなイベント名になっている
- 競技は会議前のアイスブレイクの拡大版のような役割
- 体を動かすことを通して、地域で遊ぶことを考えるきっかけをつくる
- やはり子どもは遊ぶことが好きなので、集まりやすい

菅中学校区は1小、1中という学校区のため、子どもたちはすぐに打ち解け合うことができていました。冬フェスタでは、中学生が部活の予定と重なったため不参加となってしまいましたが、小学校高学年の子たちがチームをうまく引っ張っていました。どちらのイベントでも「子どもたちが楽しめる」を念頭に企画され、遊びから会議にスムーズにつなげることができていました。これまで継続

的に子ども会議を開催してきた菅中学校区地域教育会議の皆さんは、慣れた様子で運営し、更に子どもたちと一緒に楽しんでいる姿が見られました。子ども会議の主役は子どもたちです。まずは、子どもたちが参加したくなる会議とは何か、他の中学校区の地域教育会議でも参考になればと思います。

# 力を貸してください。

# 一緒に活動しましょう!!

多摩区地域教育会議  
議長 高森 康広

地域教育会議は、25年前に川崎市内の51中学校区、7行政区に設置されました。

当団体は、学校や行政、町会や自治会、子ども会、青少年指導員や民生委員など、地域のために活動している団体から参加されている方々と、住民委員で構成されています。

そして、昨今の教育環境について話し合い、必要と思われる活動を行っていく社会教育団体です。様々な団体と、ピンポイントではなく常に連携し、良い所や問題点を話し合い、近い将来、この社会を作ってくれる子ども達を皆で育てる活動をしています。

われわれ多摩区地域教育会議は、区内にある7つの中学校区の連携促進、そして支援を行うとともに、独自に必要な活動を企画、実施をしています。

そんなわれわれと、一緒に住民委員として活動してくれる方を募集しています。

特に、今子ども達が接している環境を身近に感じられる子育て中の方々と、一緒に活動しませんか!

ご興味のある方は是非とも下記にご連絡をお願いします。お待ちしております。

## 多摩区地域教育会議

## 第15期 住民委員募集!!

あなたの力が子どもを豊かに成長できる環境づくりに役立ちます。

学校・家庭・地域の連携を推進し、地域の教育力の向上を図る市民の自主的な活動組織です。

地域の教育課題について、住民、保護者、行政関係者が一堂に会して話し合う「教育を語るつどい」の開催、子どもたちが意見を表明する機会である「子ども会議」の支援、広報紙「ちえの輪」の発行、区内中学校区との意見交換をする「交流会」の開催などを行っています。



### 2024年4月30日(火) 締切り

お申込み、お問い合わせ

多摩市民館内 多摩区地域教育会議事務局までお願いします。

多摩区登戸1775-1

TEL:044-935-3333